

市町村職員等在宅医療・介護連携基礎研修

H28. 10. 17

訪問看護による療養支援

水沢病院訪問看護ステーション きらり

遠藤 恵



訪問看護師の仕事

- 訪問看護とは病気や障害を持った人が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し、自立への援助を促し、療養生活を支援するサービス
- 対象者は高齢者に限らず、医師の指示があれば年齢を問わず誰でも受けられる

- * 病気やケガなどで在宅で寝たきりの人
- * 医療的管理が必要な人
- * 病気や療養生活に不安がある人

小児脳性麻痺、がん末期
ALS(筋委縮性側索硬化症)、
SCD(脊髄小脳変性症)
統合失調症
等の利用者が増えている

訪問看護師が行う主な仕事1

仕事の内容	説明
病気の観察	病気や障害の状態、血液、体温、脈拍などのバイタルチェック
医師の指示による医療処置	かかりつけ医の指示に基づき、血糖測定、点滴、インシュリン注射、創処置などの医療処置
医療機器の管理	在宅酸素、人工呼吸器、持続点滴、膀胱留置カテーテルなどの管理
日常生活の看護	健康状態の観察・疾病予防・悪化防止の支援、栄養・食事摂取のケア、排泄のケア、清潔のケア、療養環境の整備・療養生活助言、ねたきり・褥瘡予防、コミュニケーションの支援
ターミナルケア	末期がんや終末期などでも自宅で過ごせるように支援、緩和ケア・看取り、精神的支援、療養環境整備

訪問看護師が行う主な仕事2

仕事内容	説明
在宅リハビリテーション	拘縮予防や機能回復、嚥下(えんげ)訓練 日常生活動作の訓練・指導等、外出への工夫
床ずれ予防と処置	床ずれ防止の工夫や指導、床ずれの処置等
認知症の看護 精神・心理的看護	認知症・精神疾患のある方の看護、生活リズムの調整、 事故防止のアドバイス、服薬管理、社会参加への相談
介護予防	低栄養や運動機能低下を防ぐアドバイス
家族への介護支援	日常の健康相談、看護・介護方法に関する相談、不安や ストレスの相談、介護者の休養に関する相談、介護用品 の相談等

療養者の心理状態

- それまで、できていたことができなくなることによるイライラ、焦り、不満などを抱えていることがある
- 自由にできていたことが人の手を借りないとできなくなる欲求不満から、攻撃的になる場合もある
- 介護してもらふ事に申し訳ないという罪悪感を持っていたり、負い目を感じていたりする場合もある
- 排泄や入浴などの介助を受ける場合、恥ずかしいという意識を持つ場合もある



療養者との接し方のポイント

1. 傾聴、受容、共感が大事
ありのままの気持ちが出せるように
2. 非言語的コミュニケーションも大事
うなずき、穏やかな表情・口調
3. 「できることは本人にやってもらう」が基本
認める・労う・ほめる
4. その人らしさ、その人らしい暮らしを大切に



認知症ケアの基本原則



- 1. ゆったりと楽しく
- 2. 自由にありのままに
- 3. 「してさしあげる」ケアから「一緒に過ごす」ケアへ
- 4. 残された力で暮らしの喜びと自信を
- 5. なじんだ環境のもの、ことを大切に
- 6. 地域や自然とふれあいながら

認知症の人の行動は援助者の鏡



「快」の気持ちで関わりが出来ていると
認知症の人も「快」になる

異常の早期発見

・「いつもと何か違う!」この感覚を大切に!

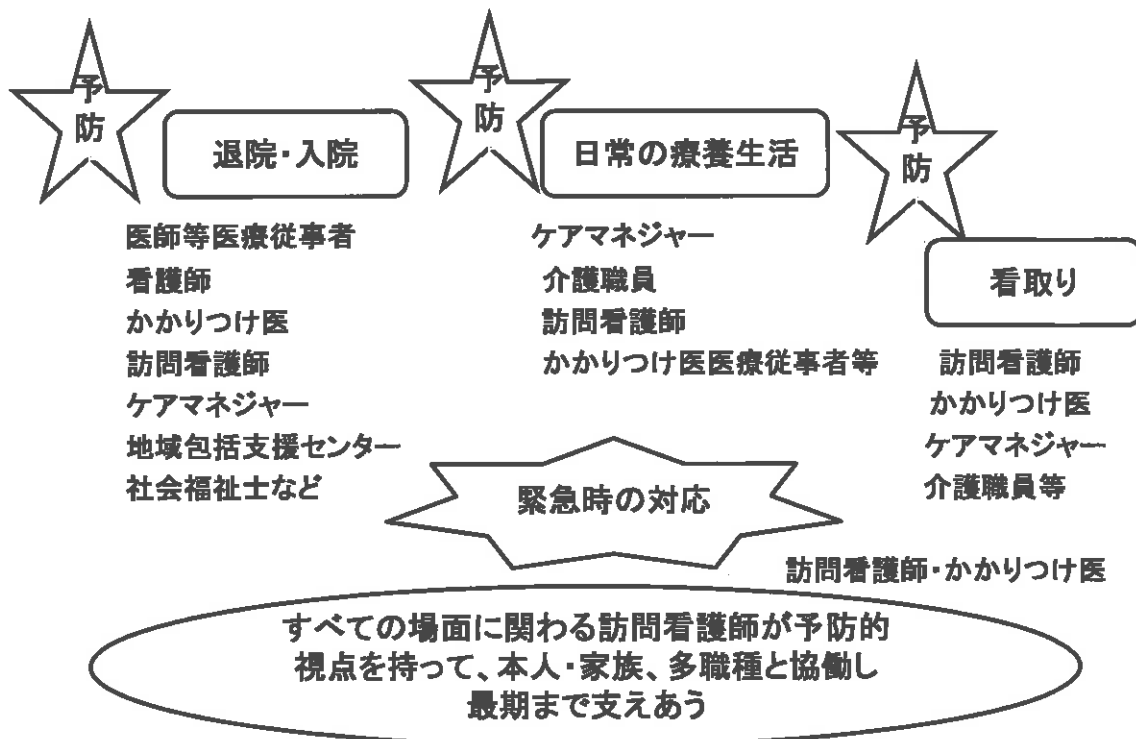
- * 食事の量が少ない
- * 眠れないようだ
- * 便が出ない
- * 元気がない
- * 落ち着きがない

訪問看護師に相談
して下さい

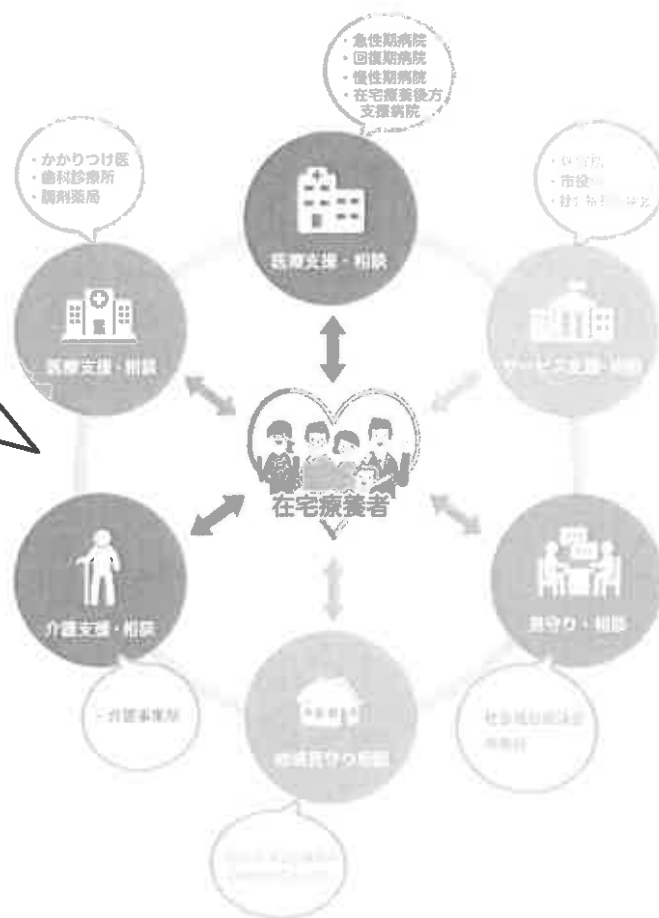


聴いてみる「どう思っているか、感じているか」
視てみる 表情・全身
触ってみる 体温・発汗・脈拍・お腹のはり

症状マネジメントは予防的視点で



支援者は
介護・
医療職
のみでは
ありません！
行政や地域の
力があれば、
住み慣れた
地域でくらす
ことができます！



まとめ

1. 療養指導は療養者や家族の理解度に合わせ
支持的にかかわる
2. 療養者・ご家族を尊重するコミュニケーション
3. 「いつもと違う」と感じたら遠慮せず訪問看護師に
相談！
4. 各場面にかかわる訪問看護師が予防的な視点をも
って、本人・家族、他職種と協働し最後まで支え
あう

